

令和6年8月食品ロス実態調査報告書
秋田市食品ロス実態調査報告書

令和6年10月2日発行

1 実施概要

■実施日時	令和6年8月22日（木）、23日（金）
■作業場所	秋田市総合環境センター
■作業時間	8：30～17：00（昼食休憩1時間、準備片付け含む）
■作業体制	秋田市職員のべ13名（地域別家庭ごみ組成調査） 受託業者職員のべ6名（食品ロス調査）
■調査資料	<ul style="list-style-type: none">・ 標記調査と同日に行う「地域別家庭ごみ組成調査」の調査資料である家庭ごみ100袋のうち、生ごみに分別された試料を「食品ロス実態調査」の調査試料とした。・ 調査資料である100袋の地区別の収集数は、中央、東部、西部、南部、北部、河辺・雄和の6地区の人口構成比により以下のとおりとした。 【8月22日】 中央（檜山11袋）、東部（東通10袋）、西部（新屋元町又は日吉町5袋）、南部（御所野8袋）、北部（下新城中野6袋、金足6袋）、河辺・雄和（河辺4袋） 【8月23日】 中央（川尻6袋、大町6袋）、東部（添川4袋、旭川4袋）、西部（新屋勝平町6袋）、南部（上北手8袋）、北部（飯島12袋）、河辺・雄和（雄和4袋）・ 調査資料の重量は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」で示している「100世帯分程度のごみ袋又は生ごみで100kg～150kg程度」としていることを踏まえ、上記100袋に含まれていた生ごみ約140kgとした。

2 調査方法

調査方法は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」に従って以下のとおり実施した。

(1) 試料採取

各地区の収集を担当する委託業者の運転員が、それぞれ当該地区のごみ集積所から、予備の袋も含め無作為に採取し、破袋しないよう作業所まで運搬、到着後、必要袋数を市職員が無作為に抽出した。

(2) 作業内容

- ・ 調査対象となる100袋に含まれる各地区ごとの食品廃棄物（生ごみ）の重量を計量した。
- ・ 食品廃棄物のうち、手付かず食品（100%残存・50%以上残存・50%未満）と食べ残し、調理くず、その他に分類し、重さを計量した。
- ・ 手付かず食品の賞味期限および消費期限を確認した。

3 調査結果

(1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表1）、6地区の100袋の合計重量は、334.0kg、1袋あたりの平均重量は約3.3kgであった。

図表1 調査対象とした試料概要（秋田市）

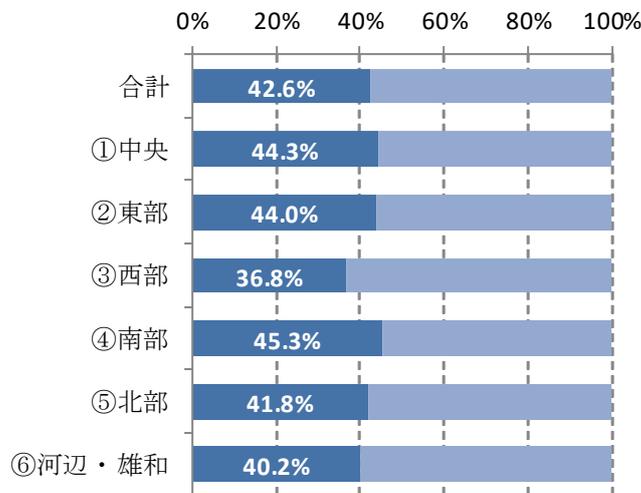
	袋数（個）	重量（kg）	容量（L）	袋あたり	
				重量（kg）	容量（L）
合計	100	334.0	3,450	3.3	34.5
①中央	23	68.3	730	3.0	31.7
②東部	18	57.6	580	3.2	32.2
③西部	11	33.1	395	3.0	35.9
④南部	16	58.3	615	3.6	38.4
⑤北部	24	79.9	810	3.3	33.8
⑥河辺・雄和	8	36.8	320	4.6	40.0

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表2）、6地区の合計割合では、42.6%となっている。

地域別に見ると、④南部が最も高く45.3%、次いで①中央の44.3%、②東部の44.0%、⑤北部の41.8%、⑥河辺・雄和の40.2%、③西部の36.8%となっている。

図表2 試料中の食品廃棄物の割合（秋田市）



	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C (=B/A)	食品廃棄物以外 D (=1-C)
合計	333.97	142.41	42.6%	57.4%
①中央	68.25	30.22	44.3%	55.7%
②東部	57.64	25.37	44.0%	56.0%
③西部	33.08	12.18	36.8%	63.2%
④南部	58.33	26.44	45.3%	54.7%
⑤北部	79.88	33.42	41.8%	58.2%
⑥河辺・雄和	36.79	14.78	40.2%	59.8%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

(2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

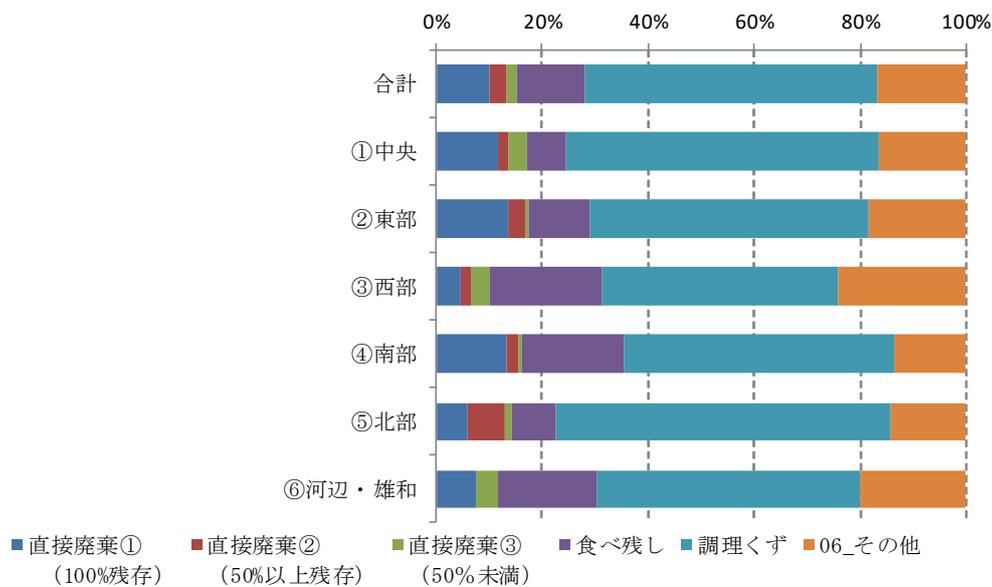
食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄および食べ残しを食品ロスとする。

食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表3）、6地区の合計割合では28.0%となっている。

地区別に見ると④南部が最も高く35.3%、次いで③西部の31.2%、⑥河辺・雄和の30.3%、②東部の28.8%、①中央の24.5%、⑤北部の22.5%となっている。

直接廃棄に着目すると、6地区の合計割合では、まったく手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち9.9%を占めており、②東部で13.7%と高く、次いで④南部が13.2%、①中央が11.8%、⑥河辺・雄和が7.4%、⑤北部が5.7%、③西部が4.8%となっている。同様に、食べ残しに着目すると、6地区の合計割合では12.9%となっている。③西部が21.1%と高く、次いで④南部が19.0%であり、①中央が最も低く7.5%となっている。

図表3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（秋田市）



	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	28.0%	9.9%	3.2%	2.0%	12.9%
①中央	24.5%	11.8%	1.8%	3.4%	7.5%
②東部	28.8%	13.7%	3.2%	0.5%	11.4%
③西部	31.2%	4.8%	1.8%	3.4%	21.1%
④南部	35.3%	13.2%	2.3%	0.8%	19.0%
⑤北部	22.5%	5.7%	7.1%	1.3%	8.4%
⑥河辺・雄和	30.3%	7.4%	0.0%	4.3%	18.6%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、食品ロス割合の内訳（直接廃棄・食べ残し）の合計は、食ロス割合と合致しない場合がある。

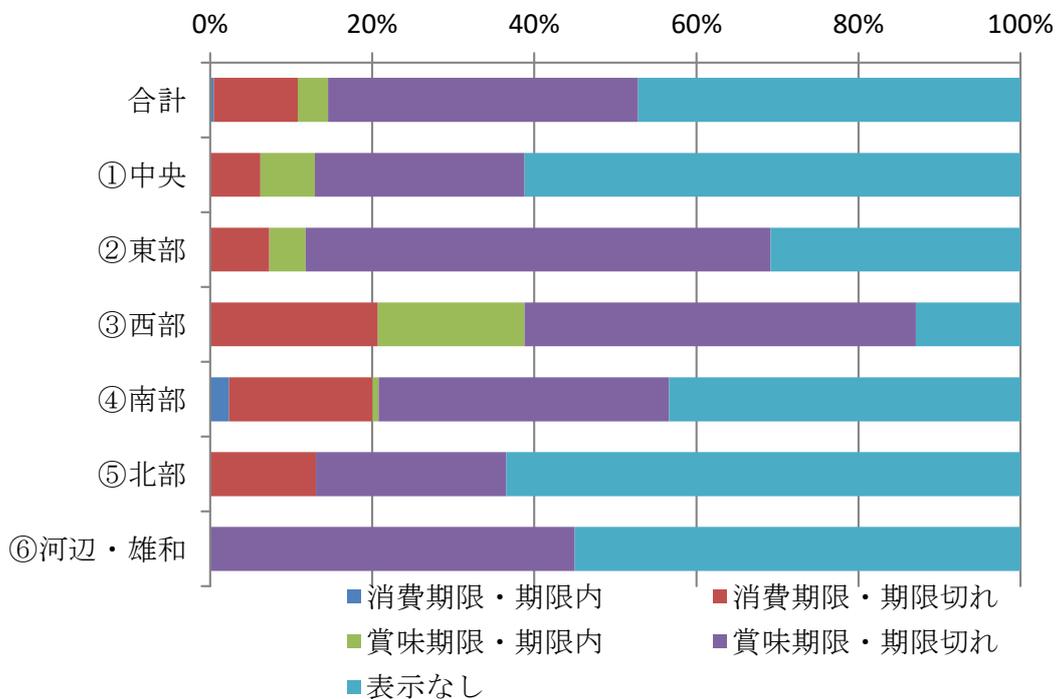
(3) 直接廃棄されたものの消費・賞味期限について

直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表4）、6地区の合計割合では「表示なし」が最も多く47.1%であり、消費期限の表示があったものは11.0%（期限内は0.7%、期限切れが10.3%）、賞味期限の表示があったものは41.9%（期限内が3.7%、期限切れが38.2%）となっている。

消費期限に着目すると、（100%手付かず）のうち「期限内」のものは④南部2.9%で、「期限切れ」については、③西部で最も高く20.7%であった。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち3.7%、地区別に見ると③西部地区が最も高く18.1%であった。

図表4 直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限について（秋田市）



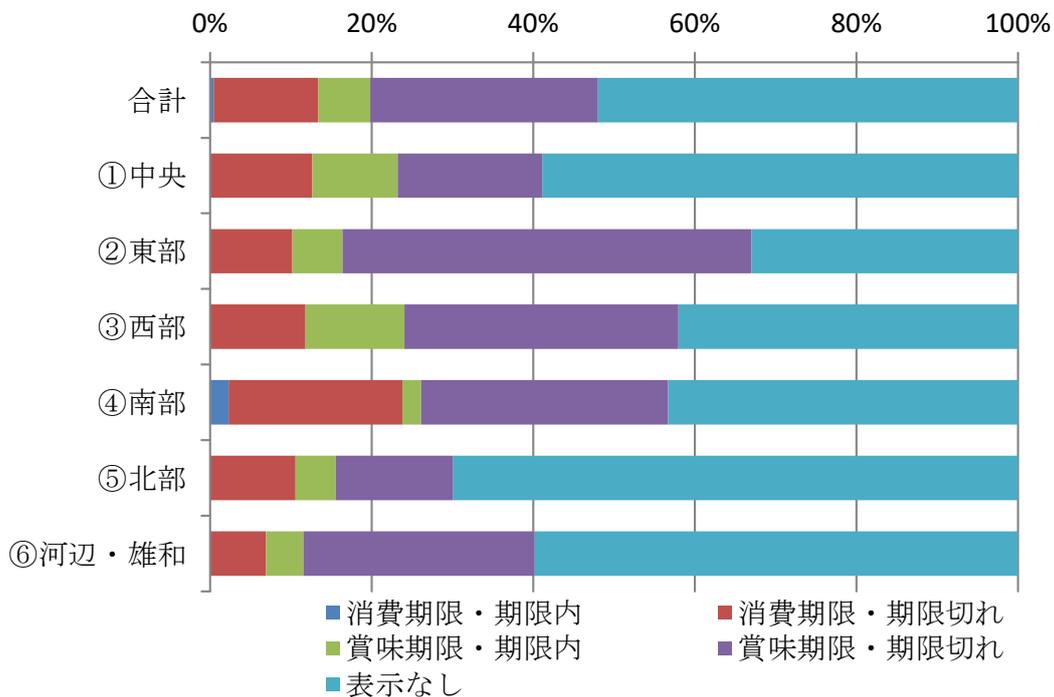
	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.7%	10.3%	3.7%	38.2%	47.1%
①中央	0.0%	6.2%	6.8%	25.9%	61.2%
②東部	0.0%	7.3%	4.4%	57.4%	30.8%
③西部	0.0%	20.7%	18.1%	48.3%	12.9%
④南部	2.9%	17.6%	0.7%	35.7%	43.1%
⑤北部	0.0%	13.1%	0.0%	23.5%	63.4%
⑥河辺・雄和	0.0%	0.0%	0.0%	45.0%	55.0%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

同様に、直接廃棄全体（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）での消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表5）、6地区の合計では「賞味消費期限表示なし」が最も多く52.0%であり、消費期限の表示があったものは13.4%（期限内は0.5%、期限切れ12.9%）、賞味期限の表示があったものは34.6%（期限内6.4%、期限切れ28.2%）となっている。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄のうち6.4%となっている。地区別に見ると③西部が最も高く12.2%となっている。

図表5 直接廃棄（合計）の消費・賞味期限について（秋田市）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.5%	12.9%	6.4%	28.2%	52.0%
①中央	0.0%	12.6%	10.6%	17.9%	58.9%
②東部	0.0%	10.2%	6.2%	50.6%	33.0%
③西部	0.0%	11.8%	12.2%	33.9%	42.0%
④南部	2.3%	21.5%	2.3%	30.5%	43.3%
⑤北部	0.0%	10.6%	5.0%	14.5%	69.9%
⑥河辺・雄和	0.0%	6.9%	4.6%	28.6%	59.8%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(4) 一人1日当たりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて、令和5年度の実績を参考に一人1日当たりの食品ロス発生量を推計すると57.4g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）が31.0g/人/日、食べ残しが26.3g/人・日と推計された。

図表6 一人1日当たりの食品ロス発生量（秋田市）

